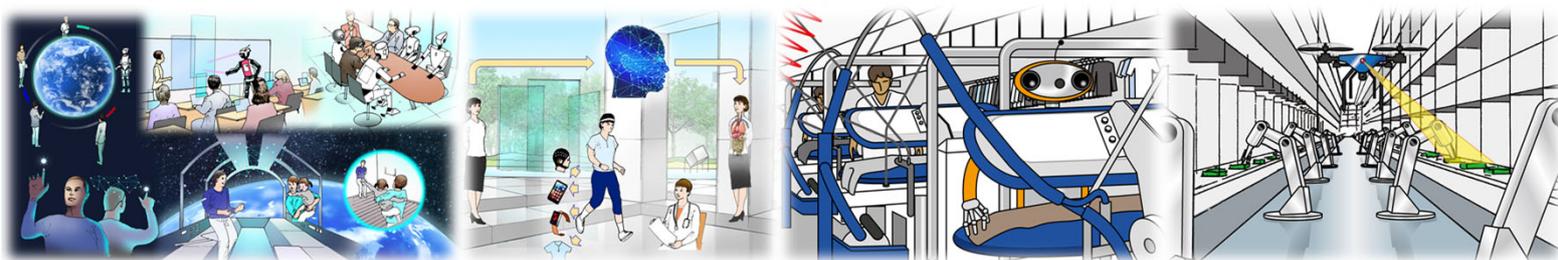


2022年度OITDAセミナー

「サイバー・フィジカル社会の 実現に向けた光技術」



一般財団法人光産業技術振興協会では、2022年度「OITDAセミナー」を6月に東京ビッグサイトで開催されるインターオプトにおいて、下記要領で実施します。

2022年

日時

6/15 (水) 10:25~14:30

会場

東京ビッグサイト 会議棟 1階
102会議室

＜プログラム＞

10:25~10:30 主催者挨拶

(敬称略)

一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久

10:30~11:15 ダイナミックイメージコントロールの新展開

群馬大学 教授 奥 寛雅

11:15~12:00 人と機械が協調する社会の実現に向けた画像センシング技術

オムロン株式会社 技術専門職 木下 航一

13:00~13:45 人に優しい裸眼3Dディスプレイと遠隔コミュニケーションへの応用

長崎大学 教授 高田 英明

13:45~14:30 メタバースとVR技術がもたらす社会変化

株式会社バーチャルキャスト 取締役CTO 岩城 進之介

※プログラムは都合により変更する場合がございます。

聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員会社、教育機関、公的機関、報道関係者：無料
一般参加者：¥5,000（消費税・資料代¥1,000含む）

参加申込：以下のURLより、お申込みください。

<https://forms.office.com/r/5BNkmj4F57se>




2022年度OITDAセミナー

「サイバー・フィジカル社会の実現に向けた光技術」

(敬称略)

OITDA セミナー 6月15日(水)		会場:東京ビッグサイト 会議棟 102 会議室	
10:25~10:30	<p>『主催者挨拶』</p> <p>一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久</p>		
10:30~11:15	<p>『ダイナミックイメージコントロールの新展開』</p> <p>群馬大学 教授 奥 寛雅</p> <p>ダイナミックイメージコントロールは、高速画像処理と高速光学系に基づいて動的なセンシングやインターフェースを実現する手法である。近年では共振型の液体レンズや撮像素子の露光タイミング制御を利用した新たなイメージング手法や、やはり液体レンズや広範囲の視線制御手法に基づく立体ディスプレイや動的プロジェクションマッピング手法へ展開している。本講演ではこれらの進展を中心に紹介する。</p>		
11:15~12:00	<p>『人と機械が協調する社会の実現に向けた画像センシング技術』</p> <p>オムロン株式会社 技術専門職 木下 航一</p> <p>近年AI技術の進化により、多くの分野に機械が入り込んでいくなかで、人と機械が円滑に協調することの重要性が高まっている。われわれはこのような人と機械の協調した社会の実現に向けて、モノ・ヒトを深く理解するためのセンシング技術の研究開発を行っている。本講演では、このような社会実現に向けた取り組みを含め、オムロンの画像センシング技術に関して最近の事例を中心に解説を行う。</p>		
13:00~13:45	<p>『人に優しい裸眼 3D ディスプレイと遠隔コミュニケーションへの応用』</p> <p>長崎大学 教授 高田 英明</p> <p>究極の映像提示の1つとして、3Dメガネを必要とせず運動視差も含めた自然な立体視が可能な裸眼3D表示が期待される。特に、3D映像があたかも目の前に実在するかのように提示できる技術は、将来のサイバー・フィジカル社会における遠隔コミュニケーションや協調作業、eスポーツなど幅広い応用が期待される。ここでは、人の知覚メカニズムを積極的に活用した人に優しい裸眼3Dディスプレイの実現に向けた取り組みについて紹介する。</p>		
13:45~14:30	<p>『メタバースとVR技術がもたらす社会変化』</p> <p>株式会社バーチャルキャスト 取締役 CTO 岩城 進之介</p> <p>近年メタバースという言葉をよく耳にするようになったが、メタバースとはいったい何なのか？メタバースによって世界がどう変わるのか？はなかなか見えてこない。本講演では「メタバース」というムーブメントを社会変化という視点で切り取り、これから社会がどのように変化していくか、新技術がどのように社会の変容を促し、そして社会に受容されていくか、今起きていることと、近未来の予測を解説する。</p>		

※都合により講師・プログラムの内容が変更になる場合があります。